

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第27号 2018年6月10日

発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会

連絡先 電話090-7847-3968 事務局:阿部 達

市民無視の東京都の説明会 住民の質問にまともに答えず

3月の都の3・4・11号線
説明会の議事録から

3月に東京都が開催した3・4・11号線に関する説明会の議事録が公表されました。その中の一部を紹介いたします。(全文は、北多摩南部建設事務所のホームページに掲載されています。)

第1日目 3月25日(日曜日)

参加者 231名

●東京都 課長

(第1回目の意見交換会について) 参加した多くの方から「事業ありきの意見交換会はおかしい」「計画の見直しという選択肢を含めて会を開催すべき」

「都市計画道路の見直し権限のある都市整備局を出席させるべき」などの御意見をいただきました。そのため、東京都は、「見直しや廃止も含め、都市整備局も出席し議論すべき」などの意見について持ち帰ることにしました。

第2回の意見交換会では見直しや廃止も含め、都市整備局も出席し議論すべきなどの前回いただいた意見に対して、東京都としては、「本路線は安全性や防災性向上に資する重要な道路であり、整備の必要性があることから優先整備路線から除外することや、都市計画を廃止することは考えていない」こと、「そのため、意見交換会は建設局主催で開催させていただく」ことなどの見解を説明させていただきました。

しかし、見解について参加者に納得していただけず、「東京

都は見直しも含めて議論すべきという市民や市議会の総意をなぜ無視するのか」「見直しの権限のある都市整備局が出席しないと意見交換会にならない」「必要性について議論できる場を設けるべき」との参加者の繰り返し意見への対応に終始し、東京都の用意した資料の説明及び整備にあたっての意見交換は実施できませんでした。

●参加者 A

そもそもこの3・4・1と3・4・11について決定されたときに、事前に市民に意見を聞いたのは、ただ1回のパブリックコメントです。パブリックコメントで2,000件を超える市民の方から意見を出されて、96%が事業については見直しあるいは廃止。賛成というのはほんのわずか。そういう住民、市民の方からこれだけおかしいよという意見が出されたのに、全く耳を貸さない。しかも直前に市議会は見直しの意見を圧倒的多数で採択して、東京都に意見書を出されているのです。こういうことをやって、こういうことではおかしいのではないか。

小池知事は都知事選に立候補したときに、この市民団体の方からの質問に対して、必要ならば現地に来ます。住民から疑義を出されているところについては来ます。小金井についても必要なら来ますと言っているのですけれども、一向に来ない。西岡市長も小池都知事に面談した際に求めているのです。市長の言っていることに対して、市議会の意思に對

しても、市民の意思に対して、これまで一貫して無視してこういう説明をするというのは、そもそもおかしいのではないですか。その道路ができるとう便利になると言っていますけれども、小金井の市議会でも議論になりましたが、道路の拡幅ではなくて、全く道路の無いところに道路をつくると、小金井ではこれまでできたところでも、18年かかって道路ができていない。もし建設に着工したとしても、事業認可したとしても、できあがるのが40〜50年後です。半世紀後に道路が完成するようなときには、もう自動車がこんなに必要ない。そういうことを無視して都合のいいことだけ説明するのはやめていただきたいと思います。



都市計画道路を考える小金井市民の会

講演会と第3回総会ののご案内

日時 7月8日(日) 午後2時 開会
会場 前原集会施設A会議室

講演

(仮題)市民が主人公のまちづくりを
どうつくるか

講師 岩見良太郎さん
(埼玉大学名誉教授)

第3回総会 議題

- 一 経過報告
- 二 会計報告と予算の提案
- 三 これからの活動方針
- 四 役員選出

●参加者D

広域避難場所へのアクセス性向上による地域の防災性強化ということで、

先ほどの説明の中には阪神淡路大震災云々ということで、本当にたくさんの方が亡くなってもう20年ぐらいになりますかね。そういうことを分析した

ということと、この必然性、この縦ライン、この南北の道路があれば、地域の防災性が強化されるという必然性を精緻に数字で分析したのを見せてください。普通に防災と考えたらどうやって逃げようか。車なんか乗っている暇はない。あるいは車のない高齢化した

社会で、しかも坂下、そういうところでどうやって身を守ろうか、どこに逃げようかというのが一番近いところに逃げるわけです。空き地を含めて。

だから本当にこの道路って何年前でしたっけ。1962年、1963年、そのときにつくられた必然性を後づけで阪神淡路大震災云々というのは、余りにも震災を受けた方々に失礼だとは思

いませんか。本当にやめてください。そういう恥ずかしいことをし

●参加者J

まずお聞きしたいのは、どちらを向いて仕事をしているのかという話です。だって、先ほどから質問を遮ったりとか、質問をちゃんと聞かないで何となく次の答えに行ってしまうというのは絶対にやってはいけないと思います。そうしたらコミュニケーションの幅が広がるだけだと思います。だからもう

一回これ自体で終わりました、これで進めさせていただきますなんてことは絶対に言わないでほしいですね

第2日目 3月26日(日曜日) 参加者 98名

●参加者C

南小学校や小学校の自然観察を引率して、この公園の周りを説明したりしてきました。ことしもこの間、1年生3クラスを案内してきました。

みんな本当にこの辺の豊かな気持ちで過ごしていた中に、土足で踏みこまれたような印象さえ受けました。私はそれこそ3・11で「花が咲く」で私は何を残しただろうという歌があります、私はこれを反対して、これからの未来の子供たちにここを残したいです。あなたは何を残しましたか。こんなかきむしった原っぱを残したくないのです。この原っぱは雑草が生えているから工事なんか軽々しくできそうだからかと思っておられるかもしれないませんが、これは雑草ではなくて植物群落という固まりで、毎年いろいろなものが入れかわります。アレチウリ、それから、いろいろなシバ、チカラシバ、いろいろなものが毎年同じものは咲きません。全体が紫色に見えるようなワルナスビが群落になります。

このような自然は小金井公園と比べると格がずっと上です。遊具もありません。小金井公園はいろいろな施設がありますが、広さもここより広いですが、この自然公園のすばらしい自然の豊かさは、小金井公園の比ではありません。これを見ただけで雑然とした原っぱだ。こんなものは工事したって大丈夫だなんて思われたら、本当にこれは自然の中の生物である自分がわかっていない人たちだと思うのです。

●参加者I

車も減ってきます。というので、そこまで本当に必要なかなというのがわからなくて、もともとの計画時には

モーターゼーション云々かんぬんで必要とされたかもしれないですけども、前提条件が変わっているわけです。なのにこれを必要と検証されたことだと思えますので、費用対効果のようなものを計算されて誰かが判断したんだと思うのですが、その数字、言葉で必要、必要ではないと言うと、いつまでも平行線をたどってしまうと思うのですけれども、ちゃんとそういう検証されたシミュレーションなり数字で言える結果があると思うので、それを今ここに出していただけますでしょうか。

<前回の世話人会以降の活動経過>

5月10日 第27回世話人会
同 市民の会 会報 第26号発行

5月15日 会報第26号を市長・市議会各派へ届け

5月17日 多摩地区道路連絡会
同 3・4・11住民の会世話人会

5月21日 北区十条73号線裁判 傍聴

5月25日 品川26号線裁判 傍聴

6月6日 外環道青梅IC裁判 傍聴

<今後の日程>

6月22日 3・4・11号線関係住民の会世話人会

7月5日 第29回世話人会

7月8日 都市計画道路を考える小金井市民の会
講演会と第3回総会 午後2時 前原集会所

<これからの他地域の裁判・学習会等の日程>

6月10日14時 講演会/埼玉大学名誉教授 岩見良太郎さん
上石神井北地域集会所

6月11日14時30分 北区十条再開発訴訟 第3回口頭弁論
地裁103号法廷

6月12日11時30分 東京外環道第2回口頭弁論 地裁803号法廷

6月25日14時30分 リニア新幹線訴訟第10回口頭弁論
地裁103号法廷 14時傍聴券抽選

7月3日14時30分 小平3・2・8号線控訴審 東京高裁825号法廷

7月10日15時 北区赤羽86号線 第2回口頭弁論
地裁103号法廷

7月11日15時 北区志茂86号線 口頭弁論 地裁103号法廷

7月25日14時30分 北区十条73号再開発訴訟 第4回口頭弁論
地裁103号法廷

<道路全国集会>11月17日・18日 会場：東京経済大学